

こねくと通信 Vol.6



あつという間に2023年最後の月になりました。

富士山の雪の積もり方にも貫禄が出てきましたね。寒さも増してきましたので暖かく過ごして
元気に年末年始を過ごせるよう体調管理に一段と気を付けていきましょう！

Vol.6号では2つの施設にお邪魔させていただきお話を伺いました。

地域の福祉施設がどのような人たちがどのような活動をされているのか、色々教えていただきました♪



NPO法人 いろは (裾野市)

裾野市にあるNPO法人いろはさんは裾野市・御殿場市で相談支援センター「そら」、就労継続支援B型「あおぞら」、放課後デイサービス「あんさんぶる」「ぱれっと」グループホーム「はるぞら」「なつぞら」「ふゆぞら」生活介護事業所「しんふおにい」を運営しています。

就労継続支援B型「あおぞら」では一般企業の障害者雇用に採用されるための仕事の”いろは”やスキルアップなどを目指して活動されています。有名温泉饅頭店の箱織や自動車部品の製造、レジの製造消毒や、haguではお馴染みのにじの架け橋さんのペットフードの袋詰めのお手伝いにも伺うようです！放課後デイサービス「あんさんぶる」は発達が気になるお子様や日常生活に困りごとが強いお子様を対象とした療育支援を行っています。同じ建屋にある「ぱれっと」は重症心身障がい児、医療ケアのあるお子

さんの医療ケアのあるお子さんの支援をされています。グループホーム「はるぞら」「なつぞら」「ふゆぞら」はグループホームの印象を覆す施設で、1Rマンションで利用者は1人1部屋に住んでいます。自立を目標としている為、食事・お風呂などは自分の部屋で行います。ただし、共有部屋もありみんなで食べたい日は皆で食べることもできますようです。各施設には世話人（職員）がいて職員としてだけでなく、家族であり、兄弟でもあるような存在なんだそうです。今年3月に出来たばかりの生活介護事業所「しんふおにい」は知的に重度の障がいがあったり、医療的ケアや身体に介護が必要な方々に様々な活動を提供し、より豊かに暮らせる支援を行っている施設です。haguでお取引を開始させていただいた、ハーブティーはしんふおにいの利用者の方々が行っています。NPO法人いろはさんは子供から大人まで利用できる施設です。いろはにはほとんどの”いろは”はすべてのはじまり。ここからたくさんの方の”はじまり”が始まります！



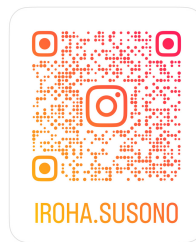
NPO法人 エシカファーム (三島市)



生活介護事業所 スタジオパレット



就労継続支援B型事業所 スタジオアルテ



いろはさんのinstaア
カウントです♪
いろいろな活動がUP
されています。

三島市にあります、NPO法人エシカファームさんの生活介護事業所パレットさんと就労継続支援B型事業所アルテさんにお邪魔させていただきました。生活介護事業所パレットさんは知的障害者の方が日中過ごす通所の施設になります。

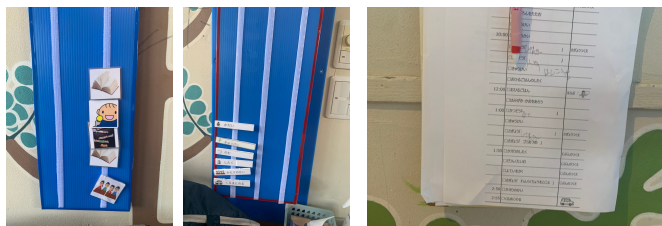
施設の壁にはかわいい木の絵が描かれていてとても印象出来でした。中に入ると、リフォームされたばかりのようでとてもきれいな壁紙やドア。壁には素敵なアート作品がたくさんありました。エシカファームさんはアートに力を入れており、支援員の方にデザイナーが2名もいらっしゃるようです。

とても発信の仕方が上手なんです。と教えてくださったのは、サービス管理責任者の名倉さん。施設について色々教えていただきました。NPO法人エシカファームさんは児童発達支援からスタートし、成人者の預かりを始めたのは6年前。そのため比較的用户さん若い方が多かったです。

共有スペースの中央にあるテーブルでは女の子たちがワイワイとクリスマス制作していました。皆さんとても器用に毛糸を巻いています。日頃は絵を描いて過ごしていることが多いようで、テーブルクロスにはいろんな色の絵具や色鉛筆の跡が見受けられました。



クリスマス制作に励む様子



利用者さんの一日のタスク管理方法は、視覚情報が強い方は絵を使って。文字が読める方は文字による管理。字を読み書きできる方は記述式の管理方法など一人一人の特性に考慮したタスク管理表を使って進めていきます。この仕組み作りを丁寧に行うことで、一人ひとりがストレスなく日常を過ごせるようになるそうです。アセスメントの重要性がここに生きてきます。

奥に進むと少し区切られた場所があります。こちら利用者さんの特性を踏まえて作られた居場所です。集中して作業ができる場所になっています。こちらの場所では、エシカファームを代表する作品ともいえる計算式のパターンを作られた「けんたさん」の席です。机には計算式の原画が！思わず写真を撮ってしまいました。この絵が新聞に掲載されたことをきっかけにお皿メーカーさんよりお声がかかり商品化されたようです。名倉さんはいろんな方に見つけていただき縁を紡いでもらっているんです。と少し照れくさそうにお話してくれました。



けんたさんの匠の計算式



番号で管理されたワークボックス

作品作り以外に、軽作業を行う利用者さんたちは、都度指導員さんが指示をするのではなく、準備ができた方から自分のワークボードに掲載されたナンバーのワークボックスを自席に持っていき作業を進めます。初めは支援員さんと一緒に進める作業ですが今では皆一人で作業を進めることができます。同じ建物の2階は自閉症を持つ知的障害者の方が過ごすスペースになります。こちらは1階との雰囲気とは少し違い、パーティションで区切られたスペースがとても多い印象です。この配置も一人一人の特性を理解し、快適に過ごすためこのようになっています。一つ天井まで仕切りが付いたスペースがあり、そこには芸術家の利用者さんがいるんですよ♪と教えてくださいました。どのような作品が生まれているのか……。気になるですね。

次に、継続支援支援B型事業所スタジオアルテさんへお邪魔しました。こちらはhaguにはおなじみの8-hカフェのお弁当や焼き菓子・クッキーを作っています。入ると既に明日のお弁当の仕込みをしていました。きのこを丁寧に裂いて、野菜を上手にカットします。包丁も上手に使えますが、利用者さんによってはキッチンバサミに変更します。一つの作業が終わると使ったものを片付けてテーブルをアルコール消毒をかけて一つの作業が完了です。こちらの施設でも一人一人の特性を理解して声掛けや仕組みを考えているようです。出来ないことには寄り添い、出来ることはどんどん伸ばしていく。支援員の方の気配りには感心することばかりです。



キノコを丁寧に裂いています



包丁も難なく使えます



クッキー等の作り方や材料は一括りに



ラベル張りは中央に

奥のテーブルではクッキーのラベル張りをしていました。支援員さんからはラベルは真ん中に、向きに気を付けて張ろうね！と声をかけてスタート。70個のクッキーにどんどんラベルが張られていきます。途中、少しずれてくると利用者さん自ら、山本さ～ん、これどうですか？と確認をしていました。少しずれてきてるね。真ん中に張ってこう！ととてもコミュニケーションが取れていました。帰りの時間には、好きなアイドルを紹介してくれたり、大好きなコナンについて教えてくれたり、先ほどまで一生懸命な姿とはまた違ったかわいらしい一面も見せてくれました。こちらの利用者さんは交代で8-hカフェの店頭にも立たれているようです♪お見かけした際には是非お勧め商品を聞いてみてください。彼らが一生懸命作ったお菓子は、haguでも販売します。遠方の方は是非haguへお立ち寄りください！

身の回りに軽作業ありませんか？

静岡県では障がい者の工賃の向上を目指しています。皆様の周りに障がい者の方ができそうな軽作業（袋詰めやシール張り等）ありませんか？もし出来ることがあるかも！と思われましたらお近くのhaguまでご連絡ください♪ 私たちが福祉施設とつなぐ＝こねくとさせていただきます！



リサイクル木材を欲しい方★

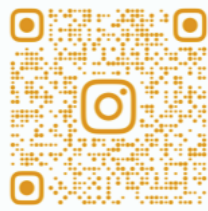
裾野市にあります、矢崎総業さんで使用済みの治具ボードを地域の方に無料で提供して下さるそうです。大きさは90×180cm 希望の方はいわなみキッチンが集約窓口になっておりますので、いわなみキッチンまでお問い合わせください♪

＝いわなみキッチン＝
静岡県裾野市岩波249-1
055-939-5800
代表 井口様

リサイクルボードの件とお伝えください。



リサイクルボードを使って作ったコンポスト@いわなみキッチン



HAGUCONNECT

『こねくと』のInstagram日々更新中！
いいね・フォローお待ちしております。

次回販売会 予告

8-Hベーグル・お菓子販売会 12月19日(火)

ひだまり保育園hagu 裾野市佐野295-1
ころね保育園hagu 三島市大宮町1-11-8
むすびの保育園hagu 沼津市玉江町1-11

児発・放デイ 2023年2月開所準備中！
haguみしま 三島市川原ヶ谷34-1



発行：株式会社スマイルリンク
静岡県裾野市佐野295-1